

平成27年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成28年3月3日(木) 北海道防衛局 4F共用会議室
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 菊地委員(北海商科大学 教授) 木下委員(監査法人銀河 理事長) 津田委員(弁護士)  (50音順)

II 防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年 3月31日	
審議対象件数	519件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数12件	(審議概要)
一般競争	11件	・事務局から、契約状況及び低入札状況の説明  ・対象件数から抽出した11件の概要について局担当者の説明後、委員による審議
指名競争	0件	
随意契約	1件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p><b>【低入札状況説明】</b></p> <p>(なし)</p> <p><b>【抽出案件】</b></p> <p>○一般競争契約(北海道防衛局)</p> <p><b>a[ガソリン購入等単価契約]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見積書は2社からしか徴取していないのか。</li> <li>・ガソリン相場が変動した場合、契約単価を変更するのか。</li> <li>・契約期間中に公表単価が改定されるのであれば、競争入札単価に意味がないのではないか。</li> <li>・単価契約の変更については契約書には記載されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他社にも見積り依頼はしたが、2社からしか提出されなかった。</li> <li>・1週間毎に公表されている石油製品小売価格調査結果等(以下、公表単価という。)を参考にし、2円程度変動があった場合に双方で協議して契約単価を改定している。</li> <li>・年度当初に契約相手を決める必要があるため、その時点での最安価な単価で契約する必要がある。契約単価を基に公表単価の変動幅を適用して契約単価をその都度改定する。</li> <li>・平成27年度までは、契約書ではなく覚書により単価の見直しを行ってきた。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p>・契約単価の見直しについて、契約書等にルールを明記するよう検討してほしい。</p> <p><b>b[備品等(電子計算機外21品目)購入]</b></p> <p>・備品21品目をまとめて発注する理由は何か。</p> <p><b>c[北海道防衛局(26)消耗品(トナー外18品目)購入]</b></p> <p>・過去4年間の同種調達の入札に参加していた業者が今回参加していないのはなぜか。</p> <p><b>d[備品(肘付椅子ほか28品目)]</b></p> <p>・北海道内にレンタル会社ほどのくらいあるか。</p> <p>・過去から入札参加者がだんだん減ってきているが、参加者を増やすことはできないか。</p> <p>・今回の入札においても前回の入札においても、今回の落札業者1者応札となっているが、前回の落札率より今回の落札率が非常に低くなっているのはなぜか。</p> <p>・入札参加者は、1者応札であることを知っていたのか。</p> <p>・発注金額の割に納品種目が多岐にわたっているので、発注内容を工夫するべきではないか。</p> <p><b>e[警備、巡回、同行(案内)業務]</b></p> <p>・どのような業務か。</p>	<p>・わかりました。</p> <p>・基本的に、緊急時以外は局内の備品購入要求を一括して購入するようにしており、それにより、契約単価の抑制が可能となる。</p> <p>・今回の発注から予定価格に該当する参加資格がCランクとなったため、異なるランク付けであった当該業者は参加できなかったものである。</p> <p>・備品レンタルの業者は60社程度である。</p> <p>・入札参加者を増やすため、リース事業協会や什器・備品レンタル協会を通じて入札広報を行い参加者増を図っているところであるが、納品先が矢臼別演習場であることもあり、現状は1社しか参加者がいない。</p> <p>・地元で営業所があったり、自社で保有しているレンタル品もあると聞いている。また、受注時期により、レンタル品を遊ばせておくより低価格でも受注を確保し有効活用すべきと判断したと思われ、企業努力であると考えている。</p> <p>・紙入札であり、入札時に他社がいないことで初めて1者応札であることが判る。</p> <p>・現地に執務室として対策本部(プレハブ)を設置しており、納品種目は事務用品から電化製品等、多岐にわたってしまう。一方、各納品種目の必要数量が少ないことから、種目別に発注するより、一括契約の方が応札しやすくなると考えている。</p> <p>・米海兵隊の訓練に当たり、必要となる役務を外注しているもの。警備業務は演習場出入口での警備、同行業務は海兵隊が演習場外に移動する際の同行、巡回業務は演習場周辺の見回りである。</p>

意見・質問	回答
<p>・過去3回の同種調達の入札において今回の落札者が落札しているが、何か優位性があるのか。</p> <p><b>f[住宅防音事業文書電子化]</b></p> <p>・どのような業務か。</p> <p>・過去4回の同種調達の入札における落札率を含め落札率が低い、予定価格が高過ぎるのではないか。</p> <p>・今回の落札業者の落札額が同業者の見積り価格の約8分の1となっているが、なぜか。</p> <p>・業者間で見積り価格に大きく差があるのはなぜか。</p> <p><b>g[簡易トイレ賃貸借]</b></p> <p>・予定価格はどのように算定したか。</p> <p>・平成22年度、平成24年度、平成25年度にも同種調達の入札を行っており、今回の落札業者は平成25年度以外の入札に参加しているが、平成25年度の入札に参加しなかったのはなぜか。</p> <p><b>h[ガソリン等単価契約]</b></p> <p>・米海兵隊が訓練を行う短期間のガソリン購入契約であるとのことだが、価格変動に伴う契約金額の変更は行わないのか。</p> <p>・調達数量はどのようにして決まるのか。</p>	<p>・業者の支店の設置場所や人員の確保方法において他社との間に差があるのではないかと考えられる。</p> <p>・当局では、飛行場周辺の航空機騒音が著しい区域を指定し、その区域に所在する住宅の所有者に対して行う防音工事を助成する住宅防音事業を行っている。この事業の実施に当たり、補助事業者から当局へ提出される申請書等の書類や設計図書を電子データ化し、可搬記憶媒体に保存する業務である。</p> <p>・予定価格については、複数社から徴取した見積りを比較し、最低価格を採用して積算を行ったので、予定価格は適切であると考えている。</p> <p>・当該業者から、見積りを提出した時期と比較して、入札時期においては受注件数が少なくなっており、従業員や機器を遊ばせておくより、たとえ低価格であっても入札に参加したいと考えた。また、電子データ化業務が専門業種であり、他の支店等から人員や機器を取り寄せて効率的に作業できると聞いている。</p> <p>・各業者が保有する機器や能力に差があることから、作業工程内容に違いが生じるため、見積り額に開きがあるのではないかと考える。</p> <p>・3社から見積りを徴取し、最安価な見積書の単価を採用して積算した。</p> <p>・平成25年度の入札で設定した参加資格（ランク）を保有していなかったためであると思われる。</p> <p>・短期間での納入のため、金額変更は行っていない。</p> <p>・米軍からの事前の調達要求による。なお、訓練終了後に実績数量により精算する。</p>

意見・質問	回答
<p>・1者応札となったのはなぜか。</p> <p><b>i[産業廃棄物処理業務単価契約]</b></p> <p>・平成22年度、平成24年度、平成25年度における同種調達の入札において同一業者が契約者となっているが、問題ないのか。</p> <p>・見積りを徴取できる業者は、他にいないのか。</p> <p>・いつも同じ3社で入札が行われているが、現状を改善できないのか。</p> <p><b>j[平成26年度(陸)東千歳駐屯地ほか宿舎施設測量業務]</b></p> <p>・特になし</p> <p><b>k[平成26年度(陸)旭川駐屯地ほか宿舎施設測量業務]</b></p> <p>・落札率が低い、他の測量業務についてはどうか。</p> <p>・低価格入札についての調査は行ったか。</p> <p>○随意契約(北海道防衛局)</p> <p><b>l[帯広地方合同庁舎構内除雪・排雪業務]</b></p> <p>・見積りを徴取できる業者は、この3社しかいないのか。</p> <p>・他にも見積り徴取が可能な業者がいるにも拘わらず、過去から同じメンバーから見積りを徴取してきているのはなぜか。</p>	<p>・本契約では、ガソリン等を矢臼別演習場まで運搬する必要があり、また、米側の要求に応じて不定期に運搬しなくてはならないことから、そのような手間等を考慮して参加してもらえなかったのではないかと考える。</p> <p>・平成25年度以前については少額随意契約であり、見積額が最安価の業者と契約したものであるため、特に問題はないと考えている。</p> <p>・入札参加資格として必要な産業廃棄物収集運搬業許可と産業廃棄物処分業許可を有する業者について、当方が地元で把握していたのは、今回見積りを徴取した3社のみであった。</p> <p>・矢臼別演習場という場所がら、なかなか入札に参加してもらえないのが現状であるが、今後は、他にも参加してくれる有資格業者がいないか確認していきたい。</p> <p>・落札率は通年低い傾向にあるが、企業努力と考えている。</p> <p>・低入札価格調査の対象となる事案ではないことから、調査は行っていない。</p> <p>・他にも見積り徴取が可能な業者はいると思うが、本業務は庁舎敷地内の除排雪作業であり、一般の道路等での作業と異なり、作業が難しい面もあると考え、過去から見積りを依頼してきている業者に毎年依頼している。</p> <p>・排雪車と除雪車の両方を所有し、作業内容を理解している業者による見積りが適切と考え、過去から見積りを徴取している業者に依頼してきているものであるが、今後は他の業者にも見積りの依頼をしていく。</p>

委員会による意見の  
具申又は勧告の内容

・特になし